

# 何だこれは？ タッカー・カールソンが軍のサタン教宣伝 を知って驚く

サタンを紹介するパワーポイント・スライドが米軍に登場し、  
ワクチンを宣伝

Steve Watson / Infowars  
September 21, 2021

<https://www.infowars.com/posts/wth-is-this-tucker-carlson-reveals-satanism-powerpoint-slide-presented-to-army-to-promote-vaccination/>

⇒「それでこれは、アメリカ軍がサタン主義を PR しているのだ。」

ホストの Tucker Carlson が、月曜日、奇怪なパワーポイント・スライドの存在を明らかにした。これはアメリカ軍の兵役勤務者に向けられたもので、命令的 COVID ワクチンに協力して、これを受けさせようとするものである。このスライドは、皮肉にも、「何人くらいの子どもが、ワクチンのために、サタンの犠牲になったと思いますか？」と問い、実は、副作用で死んだのは 3 人だけだと言って、「サタン教寺院」のウェブサイトから、直接、「サタン教の教義」を次々に述べている。

軍当局は、このスライドは、兵役者たちに見せたものだと言ったが、カールソンによれば、これは指導者の認めたものではないと言い、この軍隊のワクチン命令を、「米軍を占領するもの」だと評した。

いったいこれは何だろう？

「これは結局、アメリカ軍が、サタン教を PR しているということだ」と、カールソンは言い、「プレゼンテーションの残りはそれほどショッキングではないが、完全に見せかけの、不正直なものだ」と言った。

「それは例えば、COVID ワクチンを打って死んだ人々は 3 人だけだと、ひどいウソを主張している。バイデン政府によって集められた報告は、実はその数が、数千であることを示している」と、彼は続けて言った。

カールソンはさらに続けて、それは、エリート特殊部隊の「ネイビーシールズ」をさえ、命令に服させようとしていると言い、「はっきり言うが、彼らも何らかの危機に直面しているのだろうかと言うなら、たった一人のネイビーシールズも、COVID で死んではいないと我々は考える。この人々は、世界も最も健康な人の例であり、軍隊のオリンピック選手だ。彼らの多くはウィルスにかかり回復している。ということは、彼らはワクチンが与えるより、もっと多くの自然免疫をもっているということだ」と彼は言った。

「にもかかわらず、今夜の時点で、我々が聞いているのは、何百人という Navy SEAL が、注射を拒否したために、直ちに解雇されているという話である」と、カールソンは強調した。

彼は続けて言った、「念頭に置くべきことは、実務についているネイビーシールズは、約 2,500 しかいないということで、その一人ひとりを、米政府が訓練するためには、少なくとも 50 万ドルは係るということだ。わが国の、この軍事的決断（いさぎよさ）に対する結果を想像してみるとよい。それは恐るべきものである。もしあなたが国を愛していれば、そんなことはしないだろう。我々はまた、看護師が注射を望まないからと言って、我々の看護師の辞職を強制すれば、病院の経営ができなくなるだろう。

前に我々が注意したように、兵役勤務者の間には、ワクチン命令に対するかなりの抵抗がずっとある。<https://www.dailymail.co.uk/news/article-9991311/Lieutenant-Colonel-resigns-Bidens-vaccine-mandate-forfeits-pension-serving-19-years.html>

カールソンの一人語りについては下をみよ。

### [Gretchain 訳注]

ここには不可解な、クイズのような問題が発せられているので、これだけを独立に扱うことにした。筆者に解答があるわけではないが、長年この問題を考えてきたので、その方向性だけは見分けがつけられる。まず、なぜ軍隊で、兵役勤務者たちを相手に、サタン教の講義をするのか？（そんなこと自体が陰謀論だとして、問いをやめさせようとする人々のことは、相手にしないことにする。）これは何の戦いか？ 今、特別の地上の戦いが、起きているのではないことは確かである。もしそうなら、もっと形のある戦術の話をするだろう。

また不可解は、カールソンの言う通りで、カネのかかった重要な技術者であるネイビーシールズを、ワクチンをしないからと言って、普通、解雇はしないだろうし、看護師がワクチンを拒否したからと言って、病院を追い出すようなこともしないだろう。これも、単に、理性や打算による行動とは考えられない。

もう一つは、わが国の政治的行動が不可解である。ワクチンは、時間が経つにつれて、我々が最初、考えていたようなものでなかったことが、次第に明らかになってきた。少なくとも、ワクチンさえ打てば、すべて解決するとは誰も考えなくなった。しかし、それにもかかわらず、あたかも最初から何も変わっていないかのように、幼児の接種をさえ言い出すのは正常ではない。

これは只事ではない。人々が普通に考え出すようなことではない。これはよほどの無知か、意識的な策略か、それとも大きな力による脅迫かの、いずれかとしか考えられない。私は人を責めたくはない。ほぼ世界中が同じように動いているから、ある程度の世間並はやむを得ないかもしれない。しかし同時に今、諸外国では、恐ろしいほどのレジスタンス運動が起こっていることを、忘れてはならない。国家機関がメディアの悪に合わせて、世界の常識を無視するようなことはやめるべきである。

今、彼らが進めている運動は、単純に言えば、「エリート」を除外して、世界中の老若男女すべてが、ワクチンを受けなければならないということである。彼らはこれが実現しないと、自分たちの目的が達成できないので、これを国民のためであるかのように言っている。彼らが我々に、注射をしなければならない究極の理由は何か？ それは我々を**身体的・靈的に**作り変えるためである。彼らは我々をジェノサイドによって殺して、その死体が欲しいのではない。そうではなく、欲しいのは我々の**生きた死体**である。そしてこれが、彼らが軍隊で宣伝するサタン教の、主たる内容であるはずである。そして彼らが軍隊で教えるのは、おそらく「この行き場のない世界を打開するのは、ワクチンだけであり、その義勇軍が君たちなのだ」という、曲がった理屈であることも想像がつく。